

株式会社杉澤興業 ホテルグランメール山海荘



贈呈理由

ヒートポンプ空調システムの導入により、
大幅な省エネルギーを実現



個別分散



ホテルグランメール山海荘

「風と光と海を」をコンセプトに、 和と洋の文化を融合させたホテル

鱒ヶ沢町は、青森県津軽半島の日本海側に面し、北は日本海を臨み、南は世界自然遺産の白神山地を有しており、市街地は海岸線に沿って形成されている。町土のおよそ8割が山林で占められ、山と海に囲まれた豊かな自然の美しさが魅力的な町となっている。

株式会社杉澤興業は、1943(昭和18)年に第二次世界大戦中の政府商工省による石油ボーリング政策の際に、石油ではなく温泉が自然湧出し、その温泉権を取得して公衆浴場を始めたのが創業の始まりである。その後、遠方のお客さまから宿泊希望の声があり「上の湯温泉旅館」として営業を開始した。1957(昭和32)年に法人化し、山も海もある豊かな地ということで屋号を「山海荘」と改名し、1993(平成5)年に「水軍の宿」を開業、さらに1999(平成11)年に「ホテルグランメール山海荘」をオープンした。「グランメール」は「風と光と海を」をコンセ

プトに、藩政時代に津軽藩の御用港として栄えた往時の和の生活に、洋の文化を融合させたホテルとしてお客さまにおもてなしをお届けしている。

お客さまの快適性を第一に考え、 電気式のヒートポンプを導入

同施設はオープン以来、セントラル方式で館内空調をまかなっていたが、熱源機老朽化による機器効率低下が顕著となり、空調設備更新を模索。お客さまの快適性を第一に考え、各客室には個別分散方式による寒冷地仕様の電気式のヒートポンプを導入。これにより、各客室ではお客さまそれぞれに適した温度設定が可能になるとともに、必要エリアのみの運転が可能となったことで建物内の快適性

向上に繋がった。さらに、搬送動力の削減にもつながり、省エネルギーの実現にも大きく寄与している。

今後も、さらなる省エネルギーの実現を図るとともに、鱒ヶ沢町の魅力を発信して多くの方々に満足していただけるような宿づくりを通じて、町全体の観光や経済発展に寄与していく。

一次エネルギー消費量削減効果

従来システム	空冷ヒートポンプチャラー(冷専)+温水ボイラー 一次エネルギー消費量:2,443.67GJ
採用システム	寒冷地仕様空冷ヒートポンプ(ビル用マルチ) 一次エネルギー消費量:1,301.4GJ

従来システム
採用システム **-47%**

(諸元)同一空調負荷条件による年間シミュレーション比較
一次エネルギー換算値
※電気(全日)9.76MJ/kWh ※LPG50.8MJ/kg
※「エネルギーの使用の合理化に関する法律施行規則」



空冷ヒートポンプ

ホテルグランメール山海荘

所在地:青森県西津軽郡鱒ヶ沢町大字舞戸町字鳴戸1
延床面積:9,850㎡
竣工:2020年更新
URL:https://www.hotel-grandmer.com/

■ 設備概要

空冷ヒートポンプ(ビル用マルチ)
26台、能力計537.2kW
[日立ジョンソンコントロールズ空調]

